

【活用にあたって】

消費者の魚離れが話題になる一方で、サンマやサクラエビ等の漁獲高の激減が新聞紙面をにぎわせています。

今後、ウナギを食べることができなくなるのか、また全てを輸入に頼るのか等、社会的事象に関心を持つ児童生徒は気になることと思います。

この記事を通して、消費者のために、危機にある水産業界と大手販売店が連携している取り組みの様子を学ぶことができると願っています。

5年社会科の学習だけでなく、教師が補説することによって、3年社会科「店ではたらく人」の学習で活用することも可能です。

解答例

問1： 稚魚の採捕から養殖、加工まで全て静岡県内で行われたウナギ

問2： 5 %

発展： 地元で生産された物を地元で消費すること

※ 地域起こしや、消費者の安全・安心への意識の高まり、遠いところから運ぶより住んでいる土地のそばで生産された物を使うのが望ましいといった考えに応え、消費者と生産者を結びつける取り組み